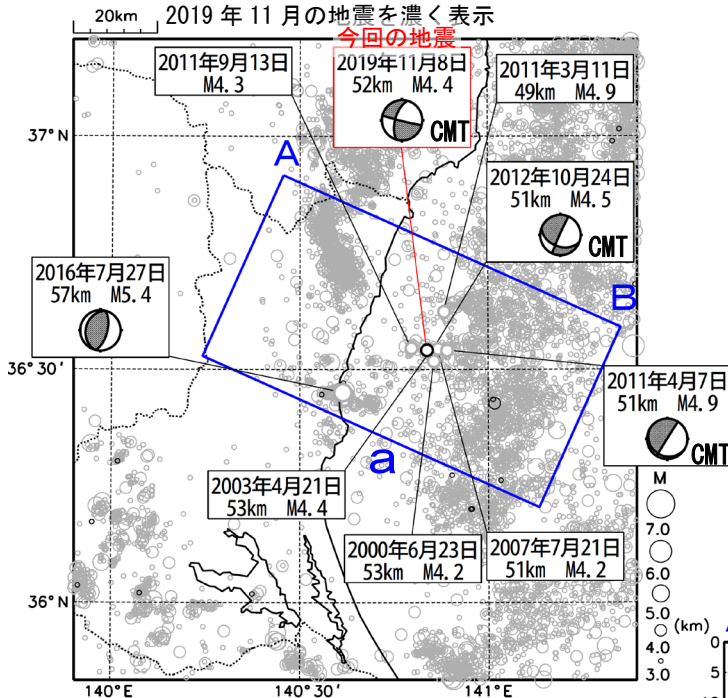


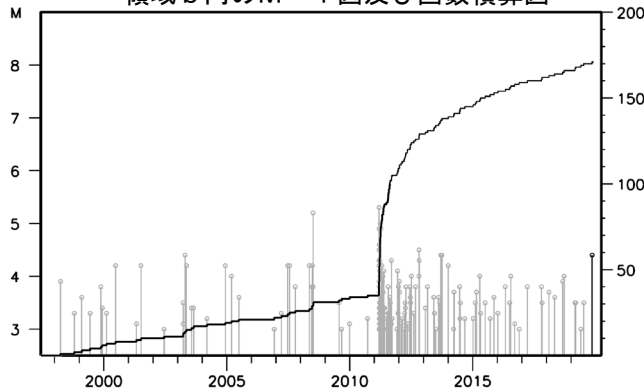
11月8日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2019年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)



領域b内のM-T図及び回数積算図

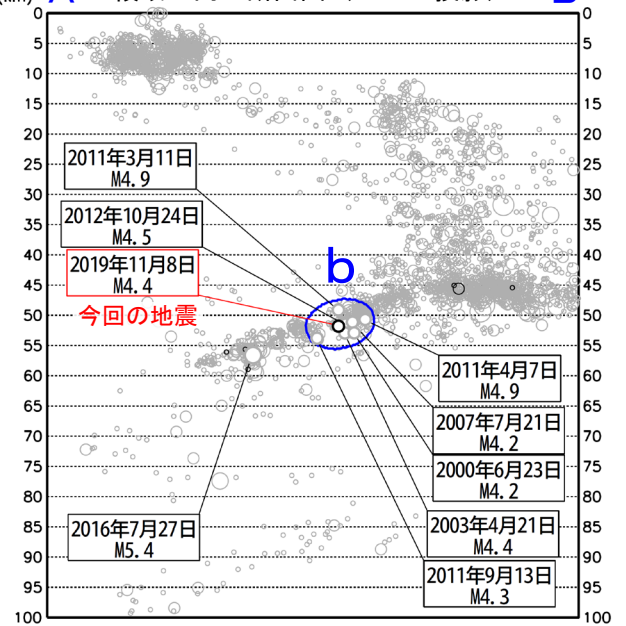


2019年11月8日18時18分に茨城県沖の深さ52kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M4～M5程度の地震がたびたび発生しており、東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動が一時的に活発になった。2012年10月24日にはM4.5の地震（最大震度4）が発生している。

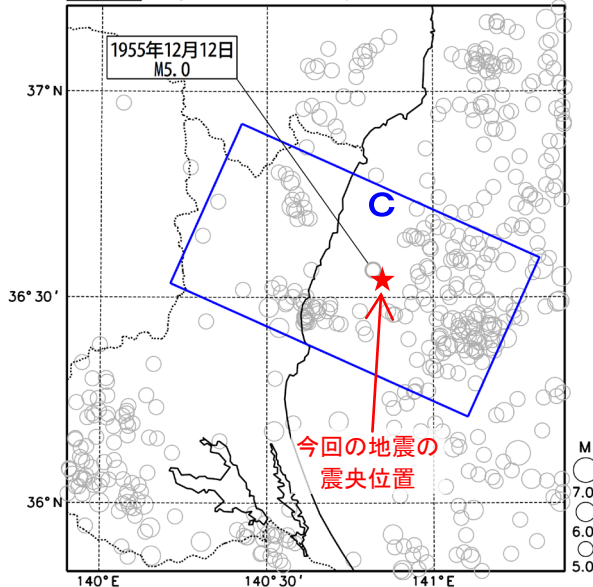
1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c）では、1955年12月12日にM5.0の地震（最大震度3）が発生した。

領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1922年1月1日～2019年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

